

整理番号	県名	団体名	担当者	分野名	該当地域	地域課題の内容	提案会形式
1	岡山県	岡山県高梁市	産業経済部観光課 課長補佐 渡辺 隆弘	観光・文化	市内全域	<p>【観光施設のデジタル活用】</p> <p>■高梁市観光施設におけるデジタル活用に関する提案内容</p> <p>1. 現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 高梁市においては、市内観光施設の観光入込客数が近年減少傾向にある。市内には歴史的文化資源や地域の魅力を伝える展示物が多く存在するものの、展示方法の多くは従来型の「見ることを中心とした展示」となっており、来館者が体験的に楽しめる仕組みは十分ではない状況である。 観光客のニーズは近年大きく変化しており、単に展示を見るだけではなく、体験や参加を通じて楽しむ観光コンテンツへの需要が高まっている。特に若年層や外国人観光客においては、デジタル技術を活用した体験型コンテンツへの関心が高く、市内観光施設ではこうした新しい観光スタイルへの対応が十分に進んでいない。 デジタル技術を活用した展示や観光体験については、全国的に導入が進んでいるものの、本市においては導入事例が限られており、観光DXに関する知見やノウハウの蓄積も十分ではない。 <p>2. 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の観光施設の展示方法では、来館の動機となる新たな魅力を十分に生み出すことが難しくなっている。従来の展示形式では、文化財や資料の価値を十分に伝えきれない場合もあり、観光客の満足度向上やリピーターの創出につながりにくいという課題がある。 観光分野では、体験型観光やデジタルコンテンツを活用した観光が全国的に広がっているが、どのようなコンテンツが観光客に支持されているのか、どのようなデジタル技術を活用すれば魅力的な観光施設となるのかといった最新の観光トレンドについて、十分な情報や専門的知見を有していないことも課題となっている。 若年層やデジタルネイティブ世代への訴求力が弱く、SNSなどによる情報発信や拡散につながる仕組みが不足しているほか、外国人観光客への対応や多言語での情報提供についても、今後充実を図る必要がある。 このような状況を踏まえ、観光施設の魅力を高めるためには、従来型の展示を見直し、デジタル技術を活用した新しい観光体験を創出していくことが求められている。 <p>3. 期待する提案内容</p> <p>①デジタル技術を活用した体験型観光コンテンツの創出</p> <p>AR・VRなどのデジタル技術を活用し、観光施設の展示を「見るだけの展示」から「体験できる展示」へと転換することで、来館者が楽しみながら学べる新しい観光コンテンツの提案を期待する。</p> <p>②若年層やインバウンド観光客に訴求する観光体験の創出</p> <p>スマートフォンを活用した体験型コンテンツやSNSでの発信につながる仕組み、多言語対応のデジタルガイドなどを通じて、若年層や外国人観光客にも魅力的な観光体験の提案を期待する。</p> <p>③観光施設と地域をつなぐ周遊型観光の仕組みづくり</p> <p>観光施設単体の魅力向上に加え、デジタルスタンプラリーやARを活用した街歩きコンテンツなど、市内観光地を巡りながら楽しめる周遊型観光の仕組みづくりに関する提案を期待する。</p> <p>本提案募集を通じて、従来型の展示中心の観光施設を刷新し、デジタル技術を活用した「新鮮で画期的な体験型観光施設」への転換を図ることで、市内観光の魅力向上と観光客の増加を目指すものである。</p>	対面方式（高梁市） 又は オンライン

2	岡山県 瀬戸内市	DX戦略室 主幹 吉川 雄介	観光・文化 地域振興 その他	市内全域	<p>【ArcGISの活用による産業および地域の発展】</p> <p>瀬戸内市では、令和5年度にArcGISを利用した「せとうちデジマップ」(https://site-setouchikokai.hub.arcgis.com/)を構築し、航空写真や市各部署で保有している情報（道路・ハザードマップ・消火栓）公開しています。このせとうちデジマップを活用したアイデアについて、ご提案をお願いいたします。</p> <p>【課題】</p> <p>「せとうちデジマップ」のさらなる活用による市民、事業者への情報発信が必要であるが、公開情報の種類が少ないこと、認知度が低いこと、限定的な活用に留まっていることが課題です。</p> <p>【現状の市側の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市が保有している情報（市観光資源や地域の経済活動の詳細データ）や、オープンデータを活用した情報公開 ・都市計画策定に繋がる情報収集や情報分析 <p>【期待する効果】</p> <p>観光客や市民が活用できる情報公開や、情報を活用した地域産業の販路拡大を促進するためのプラットフォームの実現が期待されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光資源を活用した市内周遊ルートの提示による、旅行者・関係人口の増加 ・人口、人流データの情報分析 <p>【提案頂きたい内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市が保有している情報整理方法の提案 ・オープンデータの情報収集手段、仕組みの提案 ・データを活用したシステム拡張の提案 ・さらなる活用方法の提案 	状況に応じて相談して決めたい（ハイブリッド開催等）
			農林・水産	<p>【安定した牡蠣養殖の実現について】</p> <p>令和7年冬に市の特産物である牡蠣が大量へい死し、養殖事業者が大打撃を受けました。海水温の上昇や塩分濃度の上昇などの環境変化に左右されない仕組みづくりが課題になっています。</p> <p>【課題】</p> <p>海水温や塩分濃度の変化による牡蠣大量へい死を防ぐ仕組み作りが急務です。</p> <p>【対策】</p> <p>日々の海水温、塩分濃度の数値結果を基にした対策</p> <p>【提案頂きたい内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当市環境に合った、安定した養殖の実現方法の提案 -IoT技術を活用したリアルタイムの海水環境監視 -安定した養殖環境が提供できる環境の整備 	状況に応じて相談して決めたい（ハイブリッド開催等）	
3	島根県 美郷町	総務課 係長 森永 仁	観光・文化 地域振興 自治体DX関連 その他	町内全域	<p>【滞在人口・活動人口拡大の仕組みづくり】</p> <p>○滞在人口・活動人口に関する町の考え</p> <p>美郷町は、町外から人を呼び込み、意図を持ち繰返し町を訪れる「滞在人口」、町外に住みながら町の活気づくりを力貸す「活動人口」を拡大して、例えば人口が減少したとしても外の力を借りて町の活気を作り出していく取組みが重要と考えている。</p> <p>ただし、町外から人を呼び込むといっても、やみくもに行っても十分な成果は望めない。町の強みや特色を活かした取組みで、町外の人を惹きつけ、それを町の活気に結びつけていく必要がある。</p> <p>その代表的な3つの取組みが、住民主体の獣害対策から始まった「美郷バレー構想」、30年以上の草の根の交流が発展した「パリの町づくり」、1982年の国体カヌー会場となったことをきっかけに盛んになった「カヌーの町づくり」である。</p> <p>これらの町民、地域から発展した町の強みを活かした取組みを推進していくことが活気を作り出し、ひいては、町民の暮らしや町の将来に寄与することになると考えている。</p> <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記施策で様々な団体・個人の方と協働し活動しているが、興味を持たれている方やイベントに参加し何か関与したいと考える方が、はじめから協働となるとハードルが高い。 ・また、それらの方や遠方等におられ活動に参加は出来ないが応援をしたい方に対する、情報交換の場やリアルタイムの活動情報収集の場がなく、関係人口から滞在人口・活動人口に繋げる手段が不足している。 <p>○提案いただきたいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美郷町の施策に関心を持っている方と普段から情報交換が行える仕組みや、緩やかに繋がることのできるプラットフォーム ・遠方にいる町外の方が参加できる、主催・参加側双方に低負荷の町関連のイベント ・現行のイベントやふるさと納税を用いた、関係を継続・来町に繋げることのできるサービス ・上記以外の課題を解決できる方法 	オンライン形式を希望